

## 防藻試験

試料: A. 水性塗料 B. オプティマス

試験方法: シャーレに無機塩寒天培地を流し込み、培地固化後に試料を置床する。  
藻類懸濁液を試料表面が浸漬する程度までシャーレに撒き掛ける。  
小型温室中で培養する。

供試菌	Anabaena variabilis	試験期間: 4週間
	Chlorella vulgaris	試験温度: 25±1°C
	Klebsormidium flaccidum	

前処理: 水浸漬18時間および40°C温水浸漬3日間

調査方法: 試験片上の藻の発生程度を調査する。

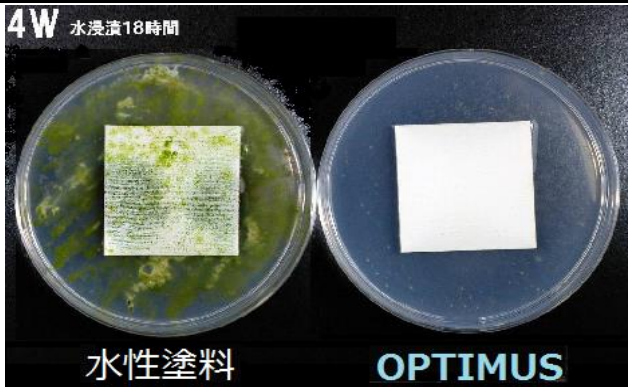
### 判定基準

—	試験片上に藻の汚染なし
±	試験片上に藻の汚染が僅か
+	試験片上に藻の汚染が小
++	試験片上に藻の汚染が中
+++	試験片上に藻の汚染が大

### 【防藻試験結果】

<水浸漬18時間>

試験区	結果			
	1週間	2週間	3週間	4週間
水性塗料	—	+	++	+++
OPTIMUS	—	—	—	—



<40°C温水浸漬3日間>

試験区	結果			
	1週間	2週間	3週間	4週間
水性塗料	—	±	+	+++
OPTIMUS	—	—	—	—

